

第507回番組審議会報告

開催日 : 令和4年5月25日(水)
場所 : 山形グランドホテル
出席委員 : 柳谷豊彦 委員長/相馬佳苗 副委員長/中川愛美 委員/堀内史子 委員
鈴木雅史 委員/三浦真守 委員/中村出 委員/齋藤義紀 委員

議事内容 : ◎社側報告

1. 挨拶 横沢 代表取締役社長

◎審議事項

1. 番組・視聴率・制作関連 黒須 編成制作局長兼番組審議会事務局長
2. 報道関連 後藤 取締役報道局長
3. 合評番組

◇ YTS スペシャル

「山形から世界へ ものづくりの想い。」

令和4年5月11日(水) 19:00 ~ 19:54 放送

担当: 編成制作局制作部長 工藤 良一

◎その他

内容:

山形テレビの第507回番組審議会が開かれ、YTS スペシャル「山形から世界へ ものづくりの想い。」を合評しました。番組は、SDGsを取りあげつつ若い層にも関心を持ってもらおうと YouTuber、ソプラノ歌手、アナウンサーの女性3人プチ旅のスタイルで進め、これまで廃棄されていた物を有効に活用してモノづくりに取り組む人や企業を紹介。3人が自分の学びとともに楽しく伝えました。

出席した委員からは、

「これまでの ものづくりシリーズからやわらかく路線変更し、女性3人の旅とともにその土地のPRも含み、堅苦しくなく見やすく、わかりやすかったと思う」

「SDGsの目標12番目のつくる責任、つかう責任をテーマに結び付けているが、今回の構成ではSDGsは再利用すること、もったいない精神だと勘違いされかねない」

「他県にはまねできない技術、伝承する力などポップさとは縁遠いのが山形のものづくり。しっかりそこを伝えてほしかった」

「女性3人の起用でポップ感と、落ち着いた男性のナレーションとはミスマッチだと感じた」

「タイトルにある『山形から世界へ』を感じる部分が少なかった」

「独創的な技術、柔軟な発想で新たな商品を開発している4つの現場の取材にSDGsを絡め統一感を待たせようとした作りは今の社会を意識したものだったと思う」

「番組の中で紹介された製品についての値段や問い合わせ先などの情報もほしかった」

「製作、生産者サイドについては共感するところはあったが、使う側、消費者サイドの内容がほとんどなかった」などの意見がだされました。

以上